

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度	
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績	
○群馬県立自然史博物館に求められる機能	○継続する機能・博物館活動の基盤となる機能・博物館に求められる機能と	(1)調査研究機能	自然史科学的調査研究 群馬の自然とそのなりたちを明らかにする新たな事実や価値などの知見を発見、蓄積する。 館独自で進める自然史調査はもとより、各地域で実施されている調査活動へも積極的に参画し、委員等も依頼があれば受託する。	自然史調査	自然史調査研究および分野別調査研究等を積極的に行い、群馬県における自然史調査研究、博物館学の専門機関として中核を担う活動を推進する。	調査分野数 (調査分野数)/(自然史調査研究)		実績	9/20分野	
						調査回数(自然史調査)	36回	実績	23回	
						分野別調査研究件数	34件	実績	23件	
						報告書の刊行	1回	1回/5年	0回	
				地域連携調査	国、自治体やその他の機関・団体の調査委員、委員会委員やアドバイザーとして、専門知識の提供を行う。	委員会委員受託件数	49件	10件/年	48件	
				博物館学的調査研究 自然に親しみ、自然に触れ、自然を学び、理解し、自然の大切さ、命の尊さを実感し、持続可能な社会について考える場をつくり、学び活動する場を提供し、学習・活動を支援する。 これらについて、具体的な支援事業として事業展開する。併せて館としての支援能力向上に努める。	展示・教育普及	常設展示において、展示コーナーの更新、新規研究成果の反映、展示方法の改善などにより展示の充実化を図る。	展示コーナー更新件数 (新)展示手法の試み等含む)		5件/年	10件
							企画展、特別展示実施回数	4回	4回/年	4回
							企画展示資料自給率 (収蔵点数/展示点数*100) 夏	50%	30%以上	89%
			秋				91%	30%以上	88%	
			春		77%	30%以上	49%			
			最新の研究成果をトピック的に展示する。		実施回数		実績	3回		
			他館、団体等と連携した共催展示を実施する。		実施回数		実績	1回 (特別展)		
			魅力ある教育普及事業の提供		教育普及事業参加者数 (学校対応以外の教育普及事業参加者数の総計)	8296人	7000人/年	8293人		
			HPアップ数	98件	実績	121件				

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度			
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績			
場				広報	デジタル媒体による広報状況	HPアクセス件数		300,000件/年	1,304,544件			
						Facebook発信件数	136件	実績	143件			
						Facebookフォロワー数		年度末3月31日を基準日とした実績	782人			
					紙媒体による広報状況	メディア掲載件数・学術記事	3件	実績	5件			
						メディア掲載件数・上記以外	127件	実績	124件			
					訪問による広報活動	訪問件数	横浜(24件) 東京(55件)	実績	横浜(34件) 栃木(17件)			
					広報手法の研究・改良	改良、実施、効果検証		実施状況	企画展、移動博物館、イベントのアンケート結果を活用し、広報活動を強化			
					意識調査	意識調査手法の開発、検証に努め、利用者の新規開拓を目指す。	意識調査手法の開発、検証状況		実施状況	来館者アンケート時に聞き取り調査		
						意識調査手法の改良を行い、博物館の改善課題を把握し、PDCAにつなげる。	意識調査手法の改良状況(低評価事項=博物館の改善課題を書きやすい内容を含む)		実施状況	企画展アンケート調査用紙への項目追加		
							PDCA実施状況		実施状況	県内全小学校児童へのチラシ配布		
					(2)資料収集保管機能	資料収集 群馬県に関する資料及び関連資料を各種調査研究を通じて収集する。さらに委託・購入・寄贈など様々な手段で継続的に収集を進める。		教育用資料	教育用資料点数	81点	実績	53点
								図書資料	図書点数	1587点	実績	1713点
									寄贈分野数	13分野	実績	18分野

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績
					当該年度寄贈による資料の受入状況	寄贈件数	19件	実績	23件
						寄贈点数	7206点	実績	763点
						寄贈受入図書数	814冊	実績	916冊
					委託等による資料収集	委託調査、委託収集、委託制作、購入等の資料取得件数	11点	実績	73点
			資料整理 活用出来る資料とすべく、資料整理を速やかに進める。		収集した資料をすみやかに整理する。	資料整理員人数	3人	3人以上	3人
			資料登録 整理済み資料は、速やかに収蔵登録する。		収集した資料の登録状況	収蔵登録件数	6432点	実績	6657点
						収蔵登録資料画像登録率 (画像登録点数/収蔵資料点数) ×100	251件 3.9%	前年比2%増	699件 10.5%
			資料公開 資料公開を進めるため、公開データベースの充実化を進める。		収蔵資料の公開状況	外部データベース(GBIF, s-net等)への標本情報提供数	4500件	4000件/年	3700件
		(3)管理 運営機能	管理運営 本構想で示したビジョンの実現に取り組む。県立の機関としてより効率的かつ透明性の高い安定した運営に努める。		館を運営するために必要な予算の獲得と効率的な遂行状況	予算額(館当初予算)	229,362千円	実績	203,245千円
					施設の計画的な改善、実施状況	施設の修繕・更新件数		実績	22件
					展示設備の修繕、更新状況	展示設備の修繕・更新件数	0件	1件以上	1件 (Dコーナー)
						施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化件数		実績	2件 点字プレート・ トイレ表記
					機材装置等の更新	機器の更新件数	0件	実績	1件
					第1～第3の各収蔵庫や展示室の点検や資料燻蒸等により、収蔵資料の安全な保管を図る。	温・湿度それぞれの基準値とその動向(温度:20～23℃; 湿度:50～55%)	20℃、50% 目標値通り	20℃、50% / 通年	20℃、50% 目標値通り

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度	
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績	
					常設展示室での安全な資料の保存環境を確保する。	1F展示室、2F展示室、企画展示室、エントランスホールの温・湿度の管理実施状況		実施状況	データロガによるモニタリング実施中	
		危機管理 博物館に関わるあらゆる人と、収蔵資料の安全を確保する。		マニュアル	地震や火災などの発生に備え、文化ホールと連携して防災訓練を実施するとともに、その他様々なシーンの危機管理について万全に備える。	各種マニュアルの見直し、改善回数と各職員への浸透	危機管理マニュアル更新・周知	1回/年	1回	
				訓練	地震や火災などの発生に備え、文化ホールと連携して防災訓練を実施するとともに、その他様々なシーンの危機管理について万全に備える。	防災訓練実施回数	2回	2回/年	2回	
				防災対策	展示、イベント開催時における防災対策の検討を行い、危機管理について万全に備える。	年1回の消防設備点検	1回	消防設備点検 1回/年	1回	
				現場での危機管理状況	フロントヤードにおける危機管理状況	危機件数		実績	0件	
					バックヤードにおける危機管理状況	危機件数		実績	0件	
			人的措置 適切な人材の確保に努めるとともに、博物館スタッフ全員を対象として資質向上のための内部研修の実施、外部研修への派遣を進める。		博物館の使命を果たすために必要な人数を確保する。	人数(職員数)	17人 (嘱託9人)	実績	18人 (嘱託9人)	
						職員が博物館の使命、役割を認識し、博物館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、意識改革と資質の向上を図る。	学会等での発表	延9件	延10件	13件
							他館視察等の件数	7件	実績	8件
							内部研修実施回数	2回	2回/年以上	2回
							外部研修への参加回数(シンポジウム・視察等)		10回	6回
						解説員解説研修	2回	実績	2回	
					解説業務自己研修	随時	随時	随時		

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績
○強化・充実・発展機能	(1)シンクタンクの機能	財源確保 安定した経営に必要な財源の確保する。 憩いの場・快適空間の創出 博物館があらゆる利用者の憩いの場でもあるように快適な空間を提供する。		快適空間 憩いの場	企業・財団等からの協力・支援	企業等からの協力件数	0件	2件/年	1件 (船の科学館)
					わかりやすい案内表示とユニバーサルデザインに配慮した、誰もが快適で安全な利用しやすい施設となるよう、日常的な点検・改善を行う。	施設、案内表示等のユニバーサルデザインに配慮した改善件数	0件	実績	1件
					職員の接遇・対応状況を点検し、改善を図りながら、博物館利用者対応の質的向上に努める。	職員を対象とした接遇研修の実施回数	2回	1回以上/年	2回
					案内業務に係るスタッフの接遇・対応状況を点検し、改善を図りながら、観覧者サービスの質的向上に努める。	職員による点検回数	随時	随時	随時
					案内業務の接遇研修の実施回数	0回	1回以上/年	0回	
					レファレンス対応による資料同定状況(専門性と研究成果に裏打ちされたもの)	資料同定件数	49件	実績	42件
					レファレンス対応による教示対応状況	教示対応件数	87件	実績	90件
					レファレンス対応によるその他問い合わせ対応状況	資料同定、調査研究対応以外のレファレンス対応件数(書籍監修含む)	81件	実績	63件
					レファレンス対応におけるマスコミ等の対応状況	マスコミからの取材、その他の問い合わせ対応件数	12件	実績	17件
					自治体および各種機関・団体への専門知識の提供	学会・博物館関連団体の委員等を除く委員等受託人数	38人	実績	32人
			学会等の役員等の受諾数	役員・委員等の受諾人数	7人	実績	11人		
			博物館施設の委員等の受諾数	役員・委員等の受諾人数	4人	実績	3人		

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績
	(2)自然史学習支援機能	関連情報を提供する仕組みの構築 自然史に関連する情報を広く一般に提供する。		関連情報を提供する仕組みの構築 (情報発信の手段等)	構築件数		実績	0件	
		自然史学習プログラムの開発、改良 館内学習での活用と広く一般に公開していくことを前提に、自然史学習プログラムや教育技法等の開発・改良を進める。		自然史科学学習プログラムの開発・改良を進める。	プログラム見直し、新規企画、開発、実施・提供件数。自然史学習プログラム開発状況	海のトランクキット「磯の生きもの」学習プログラム開発	進捗状況	海のトランクキット「磯の生きもの」学習プログラム開発・運用6件	
		自然史学習教材の開発、改良 自然史学習プログラムの開発・改良と、連携するものとの位置付けの基に、教材開発・改良を進める。		自然史科学学習教材・素材の開発・改良を進める。	新規教材、新規素材の開発、提供件数。自然史学習教材開発状況	海のトランクキット「磯の生きもの」学習教材・素材の開発	進捗状況	海のトランクキット「浜・干潟の生きもの」学習教材・素材の開発	
	(3)次世代育成機能	生涯学習プログラムの強化・開発・改良 生涯学習の視点から、未来を担う人材を育てていくため、各世代、各層に適した教育・学習プログラムを開発・実施する。	特別研究員登録状況	特別研究員数		実績	3人		
			ボランティアの育成状況	ボランティア研修回数	11回	実績	11回		
			次世代学習プログラム	次世代育成プログラムの強化、開発、改良状況		実績	幼児教育プログラム(幼児のための展示解説)の改良		
				高校生学芸員人数	9人	実績	7人		
			ミュージアム・スクール人数	11人	実績	7人			
	○新規追加機能	(1)参画型調査研究機能	みんなでしらべるぐんまの自然史 県民が自然史調査に参加する総合的な調査プログラムを組み立て、自らが調査研究を体感できるシステムを創造し、継続的に実施する。	参画型調査システム、プログラム実施状況	システム、プログラム企画、立案、開発等実施状況	「みんなで調べる群馬のツバメ」実施	実施状況	「みんなで調べる群馬のツバメ」2年目実施	
		(2)県民活動、連携協働拠点機能	県民活動、連携協働拠点の構築 県民や、自然保護団体等が自主的に自然環境に関する調査研究ができる拠点となる場をつくり、活動と情報の交流、共有化、ネットワーク化を進める。	NPO、任意団体、自然保護団体等との連携状況	NPO等団体との連携件数	37件	実績	42件 (特別展参加団体)	

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度	
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績	
○ これからの事業活動方針と展開方向	○ 事業展開方向	(1) 資料が活用できる博物館へ	収蔵施設の充実と環境の整備 資料整理および収蔵登録を速やかに進める。「自然史情報拠点」としての施設を整備(収蔵施設の充実と環境の整備)する。		資料収蔵登録状況	登録収蔵総数	174,992点	実績	181,649点	
					学術標本に含まれるタイプ標本と天然記念物の数	タイプ標本数	77点	実績	78点	
						天然記念物標本数	25点	実績	25点	
					収蔵資料の外部研究利用状況	研究目的の特別観覧数	8件	実績	13件	
						研究以外利用件数	26件	実績	24件	
						館内の常設展示や企画展での展示、ならびに他館展示への貸出などに用いることにより、収蔵資料の活用を図る。	当該年度に、展示などを目的として貸し出された資料の件数	27件	実績	24件
					(2) 研究を進めて活かせる博物館へ	自然史科学的調査研究と成果の発信 群馬の自然とそのなりたちを明らかにする新たな事実や価値などの知見の発見、蓄積する。館独自で進める自然史調査はもとより、各地域で実施されている調査活動へも積極的に参画し、委員等も依頼があれば受託する。学際的・地域的研究成果を国内外へ発信する。	自然史調査 自然史科学的調査研究	自然史調査報告書の刊行状況	自然史調査報告書の発行回数	1回
		研究報告の刊行状況	研究報告の刊行回数	1回				1回/年	1回	
		学術刊行物の状況	学術論文(査読誌で当館研究報告以外):英文論文件数					実績	3件	
			学術論文(査読誌で当館研究報告以外):和論文件数					実績	3件	
			その他、学術論文件数(当館研究報告含む)					実績	15件	
		学会発表状況	学会発表件数	12件				実績	11件	
		学術的著作、普及的著作件数	著作件数	15本				実績	11件	
		博物館学的調査研究と成果の発信 自然に親しみ、自然に触れ、自然を学び、理解し、自然の大切さ、命の尊さを実感し、持続可能な社会について考える場をつくり、学び活動する場を提供し、学習・活動の支援する。これらについて、具体的な支援事業として事業展開する。併せて館としての支援能力向上に努める	展示教育普及 広報意識調査等	学術刊行物の状況	学術論文(査読誌で当館研究報告以外):英文論文件数		実績	0件		
学術論文(査読誌で当館研究報告以外):和論文件数					実績	0件				
その他、学術論文件数(当館研究報告含む)					実績	1件				

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績
			学際的・地域的研究成果を国内外へ発信する。		学会発表	学会発表件数		実績	1件
					学術的著作、普及的著作件数	著作件数		実績	1件
			協働的調査研究の強化 地域的研究の確立に向け、地域の方々との協働的調査研究を強化する。		協働的調査研究の状況 (ツバメ、哺乳類、地衣類調査等)	協働的調査研究件数	3件	実績	3件
			総合研究・共同研究の推進 学際的研究を推進するために、総合研究・共同研究を軸とした多様な研究者による多角的な研究を活性化させる。	大学・研究機関連携	大学・研究機関との共同研究状況	共同研究件数		実績	9件
				多角的研究の活性化	大学・研究機関以外との共同研究状況(大学所属の個人や、博物館はこちら)	共同研究件数		実績	33件
						研究資料提供件数		実績	35件
			外部資金の獲得		(独)日本学術振興会の補助金を獲得し、調査研究活動を推進する。(基盤他奨励含む)。	申請件数	2件	1件以上/年	2件
						採択件数	0件	実績	1件
						民間・行政等の研究助成金等の外部資金を獲得し、調査研究活動を推進する。	採択件数	14件	実績
		(3)最新の情報を発信し続ける博物館へ	自然史科学の最新情報の発信・展示 展示更新、企画展等により自然史科学の最新の知見を提供する。展示技法についても、新たな手法等を積極的に取り入れ、改良する。		展示(常設展、企画展、ミニ展示、カウンター展示、移動博物館展示、その他展示)等で最新の情報を発信する。	新規研究成果の反映件数		実績	14件
			自然史科学の最新情報の発信・教育普及 教育普及事業等により自然史科学の最新の知見を提供する。		教育普及事業で最新の情報を発信する。	座学・体験型教育普及事業件数	20件	実績	12件

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績
			自由に学べる場づくり すべての利用者が楽しみながら自由に学べる場となれるようバリアフリー化に努める。		すべての利用者が楽しみながら自由に学べる施設、展示の改善状況 (バリアフリー化、ハンズオン化、他言語化等を含む)	施設改善箇所の把握件数、改善件数		多言語化件数、ハンズオン件数	企画展(パネル・ラベルの英語表記、ハンズオン13点・イベント2回6日、音声12点(うち画像付き8点)、その他3点)
		(4) 多様な“なぜ”を触発し創造的な活動ができる博物館へ	多様な“なぜ”を刺激するコンテンツの開発・発信 自然の不思議さを触発するコンテンツの開発・発信を行い、様々な世代に向けたイベントやプログラムの開発・実施に努める。		多様な“なぜ”を刺激・誘発するコンテンツ、イベント、プログラム等の開発・企画・発信状況	開発・提供件数 (新規プログラム・キット等)	1件 (海の学びキット)	実績	1件 (海の学びキット2)
			担い手(指導者)育成 自然史に関する新たな担い手を養成し、その担い手がさらに担い手を養成するという循環の仕組みを作り上げる。		担い手(指導者)育成の仕組みづくり状況	新たな指導者育成人数	1人	実績	1人
			人と人の輪の創出 自然史博物館を核として、人と人がつながり、交流が生まれ、地域での自主的な活動を推進する。		自然史と地域、人をつなぐ活動の状況	博物館と地域連動、連携型事業件数	1件	1件以上/年	3件
		(5) 担い手とフィールドをつなぐ役割を担う博物館へ	担い手育成 自然環境を幅広くとらえることのできる広い視野と、実体験に基づく自分の価値観に自信が持てる人材が育まれる場の創造し人材を育成する。		フィールドと人をつなぐ教育普及事業の企画、立案、実施状況	体験型(フィールド、ワークショップ)教育普及実施状況		実施状況	特別研究員及び資料整理ボランティアを活用した「ファミリー自然観察会」の実施
		(6) 頼れる存在である博物館へ	県民にとっての頼れる相談相手として 最初の相談窓口で有り、最高の相談相手となることを目指す。		レファレンス対応の状況	レファレンス対応総件数 (シンクタンク機能のレファレンス4項目の合計)	229件	実績	212件
			自由に自立して学ぶ生涯学習拠点の構築 利用者側の顕在的、潜在的な要求を把握し、知的好奇心を刺激するプログラムの提供を目指す。		自由に自立して学ぶ環境整備状況、外部登録員制度の導入	外部登録員		進捗状況	外部登録員制度を作成予定

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度	
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績	
		アウトリーチ 各地の学校、学習拠点をベースに学校教育、生涯学習教育において環境学習プログラムを推進する。			他機関・団体が主催する講演会、研修会、講座等に講師として派遣。	講座等実施回数	36件	20件	24件	
					教育委員会(学校等)等への講師派遣状況	出前授業等実施件数	20件	20件/年	28件	
			災害対策・被災地支援 災害に備えて地域のデータベース化を進め、支援体制を整える。			被災地支援、文化財レスキュー等の活動状況	被災地支援、文化財レスキュー等活動件数	0件	実績	0件
						学校連携 自然史博物館において学校教育、生涯学習教育において環境学習プログラムを推進する。	大学との連携	大学・研究機関における非常勤講師引き受け状況	大学・研究機関における非常勤講師等受託分野数	1分野
			大学・研究機関における講義実施回数	14回	実績			14回		
			大学教育への寄与・インターンシップ、博物館実習の受け入れ状況	インターンシップ、博物館実習受入人数	9人			実績	11人	
			大学パートナーシップ、連携等事業の実施状況	連携事業実施件数	5件			実績	7件	
			学生・大学院生等の指導状況	学生・大学生指導人数	1人			実績	6人	
			高校との連携	教職員研修の実施状況	教職員実技研修会等の開催件数			2件	実績	1件
				指導者育成による波及効果	研修参加者の活用希望状況・教育用資料貸出件数	18件	実績	13件		
		職場体験の受け入れ状況		職場体験受け入れ件数	1件	実績	0件			
		義務教育、幼児教育との連携	教職員研修等の実施状況	教職員研修会実施回数	2回	実績	1回			
				教職員研修会参加者数	84人	実績	113人			
			職場体験受け入れ状況	職場体験受け入れ件数	9件	実績	9件			

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度							
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績							
				連携	学校支援事業実施状況 (館内授業、スポット、かみしばい等含む)	学校支援事業実施件数	213件	実績	144件							
○ 施設計画	○ 博物館に必要な施設	(1) 知的好奇心を刺激する展示ゾーン	展示施設の保守・更新 施設の老朽化、常設展示の劣化、陳腐化、ユニバーサルデザインや多言語標記への対応に努める。	常設展	展示設備の保守点検状況	解説員・案内員展示室内チェック	随時	随時	随時							
						職員による定期的な展示室内チェック、清掃	1回	1回/月	1回							
						職員による展示室修繕、清掃	随時	随時	随時							
						常設展メンテナンス等による修繕、更新	随時	随時	随時							
		(2) 担い手活動ゾーン	担い手活動拠点の整備 県民の交流・学習機会拡大のためのスペース不足等の解消、改善に努める。		県民の交流・学習機会拡大のためのスペース不足等の解消、改善状況		スペース不足解消や改善件数	/	/	実績	改善なし					
										機材・装置・器具等の整備 調査研究活動に必要な機材等の更新に努める。	調査研究活動に必要な機材等の更新状況	機材などの更新	/	/	実績	更新なし
															バックヤードの整備 調査研究活動・収蔵スペースの不足等の解消、改善に努める。	調査研究活動をおこなうバックヤードスペースの整理整頓、スペース確保状況
		(3) 憩いのゾーン	憩いの空間の創出 気軽に博物館に立ち寄ることのできる空間を創出、演出し、周辺の豊かな自然環境との調和やその活用に配慮し、中庭を活かした癒しのある博物館空間を創造する。		県民サービス関係の改善状況		中庭・休憩室等憩いの空間の改善	/	/	実績	ベンチ交換とトイレの手荷物大設置					
										館内案内の改善状況	中庭・休憩室等憩いの空間の改善	実績	入り口看板の作成			
			ショップの充実化 知的好奇心を刺激するグッズを充実化する。		教育普及としての博物館オリジナルグッズ、教材の充実化状況		新規開発グッズ、教材件数	5件	実績	5件						

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績
	(4) 調査研究ゾーン	自然科学的調査研究 研究最先端の情報を提供するための調査・研究機材、専門的な器具・装置等を備え、適宜更新する。	自然史調査	調査研究環境の改善状況	調査研究機材などの改善件数		改善希望の機材等件数 39件	0件	
		博物館学的調査研究 自然に親しみ、自然に触れ、自然を学び、理解し、自然の大切さ、命の尊さを実感し、持続可能な社会について考える場をつくり、学び活動する場を提供し、学習・活動の支援する。これらについて、具体的な支援事業として事業展開する。併せて館としての支援能力向上に努める。		展示・教育普及	調査研究環境の改善状況		調査研究環境の改善件数	実績	2件 分析室と第2研究室の作業スペース確保
		(5) 収蔵ゾーン	収蔵施設の拡充、充実化 収蔵資料の適切な保管環境を維持する施設を整備する。		収蔵庫の整理、配架状況	収蔵庫の整理作業		1回/年	1回
		新規収蔵庫の獲得にむけた状況	新規収蔵庫の獲得に向けた企画・立案状況		本項目と関係する予算項目の設置 富岡合同庁舎(旧レストラン)に確保、館内増築可能性の検討	進捗状況	他館への情報収集等		
		収蔵環境の整備 収蔵資料を適切かつ継続的に保管する環境を整備し、資料活用促進のための環境整備を進める。	収蔵方針の明確化	収蔵方針の明確化、可視化状況	収蔵方針の確認		全分野	項目を統一し作成、確認	
		管理簿を用いた各収蔵庫利用状況の管理		収蔵庫利用件数		実績	111件		
		収蔵資料データベースのバックアップ状況		館外でのバックアップ	館外でのバックアップ DAT保存データ・館内保存、クラウド管理	クラウド管理	館外でのバックアップ DAT保存データ・館内保存、クラウド管理		
				資料燻蒸の実施	収蔵庫燻蒸回数	1回	1回/年	1回	

博物館評価指標 1 基本構想関連博物館評価指標(項目別目標及び目標値の実績)

基本構想			実施計画		評価指標内容	評価指標	平成28年度	平成29年度	平成29年度	
区分	区分	項目	大区分	小区分			実績	目標 (実績等)	実績	
					資料燻蒸の実施	燻蒸庫燻蒸回数	2回	2回以上/年	3回	
					文化財害虫への対策	貴重資料の燻蒸回数	1回	1回/年	1回	
					文化財害虫への対策	忌避対策回数	2回	2回/年	2回	
					当該年度における、注意を要する収蔵資料の保管状況の点検	保管状況点検	2回	2回/年	2回	
					当該年度における、基準標本の保管状況	保管状況点検	1回	1回/年	2回	
					当該年度における、天然記念物の保管状況	保管状況点検	1回	1回/年	2回	
					収蔵登録の推進	収蔵登録の促進	収蔵登録点数(単年)	6432点	実績	6657点
					公開データベースの充実化	データベース化と公開の推進	データベース点数	4500点	実績	3700点
					危機管理対策 災害時にそなえ、収蔵庫内の安全確保のための環境整備を進める。	収蔵庫の防災対策実施、点検状況	収蔵庫内の安全確保状況	/	随時	毎日点検実施
					○運営方式	○運営方式	運営・評価等	博物館運営委員会の設置 博物館の運営方針、事業展開、博物館が直面する様々な課題や改善策、博物館によせられる多様な意見や要望などについて検討する。	運営会議の開催 (外部評価PDCAを受けての運営改善を含む)	運営委員会の開催回数
博物館内部評価委員会の設置 博物館の多面的な機能を総合的に評価する。	内部自己点検評価	内部評価委員会回数	1回	5回/年				5回		
博物館外部評価委員会 QPMI、PDCA等、博物館の活動を客観的に評価、改善にむけたアドバイスを得る。	外部評価委員会の実施	1回/年	1回	1回/年				1回		